

日立ソリューションズがクボタシステム開発と共同開発した グローバル生産状況の一元管理システムで、米 SL 社の RTView を採用

株式会社クボタ向けに、既存の製造情報データベースに RTView を接続した
リアルタイムな可視化と監視ダッシュボードをわずか数ヶ月で開発し、「製造現場の見える化」を促進

2015年6月10日 プレス・リリースより

リアルタイム・データのグラフィックな可視化と監視で業界をリードする SL ジャパンは、豊富な IT ソリューションを組み合わせた高いシステム・インテグレーション技術を提供する株式会社日立ソリューションズが、クボタシステム開発株式会社と共同で開発したグローバルな生産状況を一元監視できるシステムで、SL 社の RTView を採用したと発表しました。本システムは、農機、(ディーゼル)エンジン、鋳鉄管などの製品を通じ、美しい地球環境を守りながら人々の豊かな暮らしを支えてきた株式会社クボタの筑波工場向けに、リアルタイムな「製造現場の見える化」の促進で開発されたものです。

RTView は、リアルタイム・データのグラフィックな可視化と監視ツールで、任意の既存データに接続し、アラートやヒストリアン(履歴化)などの高度な機能を持った性能監視システムを、お客様のオペレーションやサービスに応じてカスタム構築できるツールです。

今回日立ソリューションズとクボタシステム開発が RTView を使って共同開発した「製造データ一元管理システム」では、グローバルに展開されている生産拠点マップから、特定工場における全製造ラインの生産進捗状況の詳細までを、設備・品質・環境などの関連する性能指標とともに一元監視できるものです。

☆プレス・リリース全文:

http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2015/sl_j_press_150610.shtml

☆事例(詳細): (会社名、お名前、お電話番号、メール・アドレスのご入力が必要です。)

https://www.sl-j.co.jp/products/download/entryform_hisol_kubota.html



グローバルに展開されている生産拠点マップ(上)から、特定工場における全製造ラインの生産進捗状況をライン・マップ(下)で一元監視

(注) ライン構成などは抽象的に簡素化したもので、実際とは異なります。

カスタム構築するサービスやオペレーションの性能監視で、新しい Google マップ機能を発表

RTView 新バージョン 6.6 リリースで、Google マップ・オブジェクトの追加をはじめとするグラフィカル機能拡張

2015年7月15日(日本時間) プレス・リリースより

SL ジャパンは、RTView の最新バージョン 6.6 リリースで、新しい Google マップ機能の追加をはじめとするグラフィカル機能を拡張したことを発表しました。

新しい「Google マップ・オブジェクト」は、RTView 監視画面に Google マップを組み込める新しいディスプレイ・オブジェクトです。グローバルに分散したデータ・センターや事業所におけるサービスやオペレーションの性能監視システムのカスタム構築を、対話性のある地図画面から詳細情報へのドリルダウン機能がさらに支援します。

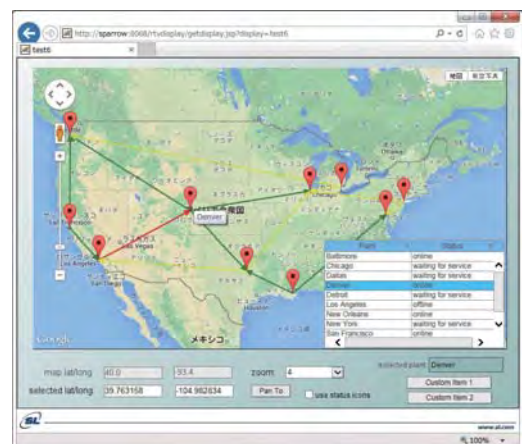
RTView は、各種の標準的なデータ・アダプタならびにカスタム・データ・アダプタによって既存の性能データに接続し、サービスやオペレーションに応じてリアルタイムに可視化して監視できるダッシュボードを、ポイント＆クリックのビルダーを使って対話的にカスタム構築できるツールです。

☆プレス・リリース全文:

http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2015/sl_j_press_150715.shtml

☆「Google マップ・オブジェクト」デモビデオ(1分48秒):

<http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/googlemapsvideo/googlemaps.html>

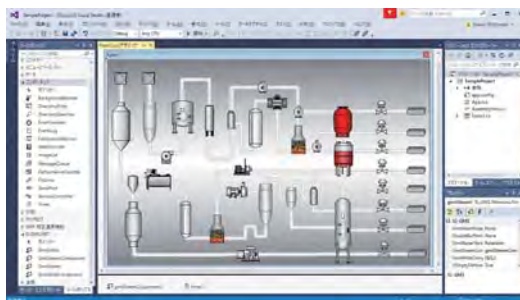


最新の監視制御システムの開発と提供で、SL-GMSを組み込み再販しているユーザを先んじて支援継続

2015年9月10日(日本時間) プレス・リリースより

リアルタイム・データのグラフィックな可視化と監視で業界をリードするSLジャパンは、32 bit 版ならびに 64 bit 版 SL-GMS Developer for .NET と SL-GM Custom Editor for .NET の最新バージョン 4.5a をリリースし、Microsoft Windows 10, Visual Studio 2015, .NET Framework 4.6 に対応したと発表しました。

SL-GMS Developer for .NET ならびにそのオプションである SL-GMS Custom Editor for .NET は、Microsoft .NET Framework における Visual Studio を使ったリアルタイム・アプリケーションの開発ならびに Web 運用を専門とする SL-GMS 製品で、極めて高対話性でコンテンツリッチな GUI/HMI をミリ秒単位のパフォーマンスで提供して運用できるものです。



これらの製品は、プロセス制御をはじめ、エネルギー管理やビル/設備管理で世界をリードする主要な DCS/SCADA 製品に組み込まれて再販されています。今回の新バージョン 4.5a は、SL-GMS を組み込み再販しているユーザを先んじて支援継続するものです。

☆プレス・リリース全文:

http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2015/sl_j_press_150910.shtml

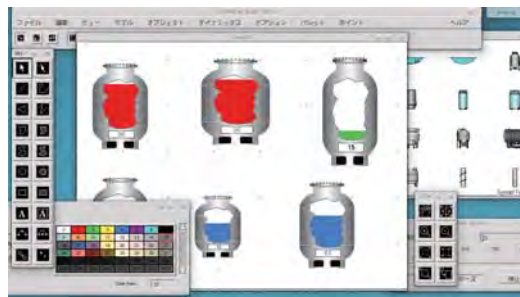
64 bit 版 SL-GMS C++/Developer 新バージョン 6.6a で、Red Hat Enterprise Linux 7 を追加サポート

2015年6月24日(日本時間) プレス・リリースより

SL ジャパンは、64 bit 版 SL-GMS C++/Developer の新バージョン 6.6a で、64 bit ネイティブ Red Hat Enterprise Linux 7 を追加サポートしたと発表しました。

ダイナミックな GUI/HMI 開発ツールである SL-GMS C++/Developer ならびに Custom Editor などそのオプション製品は、最も高度な制御システムのリアルタイム・データを動的に可視化できる、SL 社のロングセラー製品です。

1983 年以來、SL-GMS C++/Developer は、UNIX から Windows や Linux へ、また C++ から ActiveX, Java, Microsoft .NET に対応して進化し続け、プロセス制御、通信ネットワーク管理、交通管制、宇宙・防衛などの管制センターや制御室で稼働するミッション・クリティカルな監視制御システムを開発してきた世界大手の OEM ならびに VAR 各社によって組み込み再販されてきました。



☆プレス・リリース全文:

http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2015/sl_j_press_150624.shtml



Application Performance 2015 講演レポート

去る9月8日(火)御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターで開催された Application Performance 2015 で、SL ジャパンの代表取締役社長である羽島良重が「IoT で氾濫するアラートを一元管理 ~ Google マップなどを活用し、サービスやオペレーションに応じてカスタム構築する性能監視」と題し、スポンサー講演しました。

進化して複雑化する今日のアプリケーション環境における性能監視では、市販または社内開発されたさまざまな監視ならびに運用管理ツールが使用されています。

さらに IoT の普及に伴い、分散したデータセンターや事業所、設備施設における性能監視データは多様化し、アラートが氾濫。これらをリアルタイムに集約して Google マップなどで可視化し、サービスやオペレーションに関連付けて一元管理する性能監視ダッシュボードの「カスタム構築」について、事例とデモを交えて解説しました。

☆イベント・サイト:

http://www.sl-j.co.jp/newsevents/AP2015_session.shtml



Real-Time Visibility

年3回発行 2015年9月28日発行 通巻52号



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。